

男性のHPVワクチン(9価) 任意接種費用助成制度



HPV (ヒトパピローマウイルス) は、子宮頸がんをはじめ、肛門がんや尖圭コンジローマ等の病気の原因となるウイルスです。現在、男性がHPV ワクチンを接種する場合は任意接種となり、全額自己負担となるため高額な接種費用(1回3万円程度)がかかります。町では男性のHPV ワクチン(9価)の任意接種費用の助成を行います。

- ▶ **対象者**：接種日時点で三芳町に住居登録のある小学校6年生～高校1年生相当の男性
- ▶ **対象ワクチン**：9価HPV ワクチン
- ▶ **助成回数**：ひとりにつき3回(接種完了)まで。
※1回30,000円を上限

助成制度 事前に申請した上で、三芳町・富士見市・ふじみ野市の実施医療機関で予防接種依頼書を持参し、接種した場合に該当になります。必ず、健康増進課までお問合せ下さい。

歯周疾患予防検診・妊婦歯科検診

町では、一般成人向けの①歯周疾患予防検診(先着順)と妊婦の人向けの②妊婦歯科検診を実施しています。

- ▶ **実施期間**：①令和8年4月1日～令和9年3月31日
②受診票交付～出産日
- ▶ **対象**：①20歳以上の町民②町内在住で母子健康手帳の交付を受けた妊婦
- ▶ **料金**：各500円(生活保護受給者は無料)
- ▶ **定員**：①100人②定員なし
- ▶ **場所**：清水歯科医院・三芳歯科医院・大進歯科医院・はばら歯科・ユナイトみよし歯科・おがた歯科 小児歯科医院・うららか歯科
- ▶ **申込み**：①実施期間内に上記窓口へ①歯周疾患予防検診申込み②住所③氏名(ふりがな)④生年月日⑤日中連絡可能な電話番号を記入してはがき・FAX・メール・申し込みフォーム(下記コード)で申し込み(診査票が届いたら実施歯科医院へ予約し、1か月以内を目安に受診)。②母子健康手帳交付の際に配布した診査票で実施歯科医院へ予約し、出産日まで受診。

带状疱疹ワクチン定期接種



▶ **令和8年度対象**：任意接種を含め、原則過去に带状疱疹ワクチンを接種したことがない次の①～③の人。

- ①令和8年度に65歳を迎える人(昭和36年4月2日～昭和37年4月1日生まれ)
 - ②60～64歳でヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫の機能の障害があり、日常生活がほとんど不可能な人
 - ③令和8年度に70・75・80・85・90・95・100歳を迎える人
- ※①・③の該当者には個別で通知
- ▶ **接種回数・費用**：【生ワクチン】1回接種・3,000円
【組換えワクチン】2回接種・1回あたり13,000円
- ▶ **接種医療機関**：三芳町・富士見市・ふじみ野市の実施医療機関(上記コード参照)
- ※2市1町以外の医療機関で接種を希望する場合は上記担当課へ連絡。

乳がん検診(マンモグラフィ検査)

申込みは
4/1～30
(消印有効)

- ▶ **日時**：6/14(日)・15(月) 9:00～15:30 (時間指定不可)
- ▶ **対象**：①40歳以上の奇数月生まれの女性
②前年度に受診歴のない偶数月生まれの女性
③無料クーポン券の対象者
- ▶ **場所**：保健センター
- ▶ **料金**：1,000円(生活保護受給者は無料)
- ▶ **定員**：220人(14日140人・15日80人)
- ▶ **申込み**：4/1(水)～30(木)に、はがき・FAX・電子申請・上記窓口で、①乳がん検診申込み②住所③氏名(ふりがな)④生年月日⑤日中連絡可能な電話番号⑥希望の日にち(抽選の場合あり・時間指定不可)を記入して申し込み。

※妊娠中・授乳中・胸壁に人工物が入っている人、乳房の手術後1年以内の人、卒乳後1年以内の人などは検査できません。
※検診日に町外に転出している人は対象外。
※同一年度に同じ検診は1回まで。
詳しい注意事項は町HPへ。

▼ 休日・夜間・小児時間外診療・救急病院

| 施設名 | 休日急患診療所 | イムス富士見総合病院(入院等が必要な救急小児) |
|------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 所在地 | ☎ 264-9592 (ふじみ野市駒林元町3-1-20) | ☎ 251-3060 (富士見市鶴馬1967-1) |
| 診療日 | 日曜・祝日・年末年始 | 月・木曜 |
| 診療時間 | 9:00～12:00/13:00～16:00/19:00～21:00 | 月・木が平日▶18:00～翌8:00/月・木が祝日▶8:00～翌8:00 |

▼ 救急病院

| イムス三芳総合病院 | ふじみの救急病院 | 三芳野病院 |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| ☎ 258-2323 (藤久保974-3) | ☎ 274-7666 (北永井997-5) | ☎ 259-3333 (北永井890-6) |

24時間体制で受付中
困ったときの医療機関案内 ▶ 埼玉県救急電話☎ # 7119 (IP電話は048-824-4199)
埼玉県AI救急相談(チャット形式。右記二次元コードから)

24時間対応
県AI救急相談は
ここからアクセス



下記のイベント会場は全て中央図書館

EVENT

としょかん えほんワールド(申込み不要・無料)

▶ 開催日：4/19(日)

▼ えほんの部屋

絵本の読み聞かせや手遊びを楽しみましょう。

- ▶ **時間**：①10:15～10:45 ②11:20～12:00
- ▶ **対象**：①1～3歳向け(要保護者同伴) ②3歳～小学生向け
- ▶ **場所**：中央図書館2階 視聴覚室



絵本の世界を
楽しもう!

▼ 自転車紙芝居

- ▶ **時間**：①10:55～11:10 ②12:10～12:25
- ▶ **場所**：みらい広場(中央図書館前)
- ※雨天の場合は場所変更あり。



昔ながらの
自転車紙芝居

図書館だより



中央図書館 ☎ 258-6464
開館時間/10:00～19:00(土・日・祝18:00まで)
休館日/毎週月曜日・月末(土・日除く)
竹間沢分館 ☎ 274-1722
開館時間/11:00～18:00
休館日/毎週月曜日・月末(土・日除く)
配本所(中央公民館内) ☎ 258-0050
開館時間/9:00～22:00 ※公民館の休館に準ずる
休館日/原則第1月曜日(中央公民館休館日)

《学校》にまつわる本 別置紹介中

児童書



『ぼくは一ねんせいだぞ!』

福田岩緒/作
童心社
1991年2月初版発行
Eぼ

けんちゃんは今すぐ小学1年生になる男の子。おばあちゃんからランドセルが届くのを楽しみに待っていました。ランドセルが届くと、さっそく背負って家を飛び出し、自慢げに公園へ行くのですが……。新しい学校生活を心待ちにする男の子の気持ちが伝わる絵本。

みよし 歴史 探訪

れきしとくらし 第一回 旧暦と新暦

文化財保護課 ☎ 258-6655

私たちの生活には様々な年中行事があります。これらの行事は、三芳の人々の生活の中心だった農業のサイクルや季節の変化と関わり合いながら、受け継がれてきたものです。これから1年間をかけて、その時々々の行事を紹介していきます。

行事の紹介の前に、皆さんは旧暦と新暦という言葉を知っていますか？時は明治時代。国際的な近代化を推し進める明治政府によって、明治5年12月3日を明治6年1月1日とした上で、1年を365日、4年に1度閏日を置く太陽暦(グレゴリオ暦)が採用されました。この太陽暦を新暦と呼び、それに対してこれまで使用してきた太陽暦を旧暦と呼ぶことになりました。新暦は公式の場ではすぐに採用されたようですが、農家の生活ではすぐには受け入れられませんでした。これまで使用していた旧暦は農作物の成長や季節・気候の変化と強く結びついていたからです。

例えば、新暦の1月1日から3日間 は休日とするように、という布告が出されましたが、新暦の1月1日は三芳

の農業に関わる人にとって、クズ掃き(落ち葉掃き)の季節です。新暦で正月をゆつくり過ごしてしまうと雪や雨の多い季節になってしまい、落ち葉が濡れて重くなり掃きにくくなってしまいます。

このように、農業と深く結びついていた旧暦をすべて新暦に替えることは難しかったようです。そこで採用されたのが「月遅れ」という考え方です。新暦での1か月のずれは、旧暦に近かったため、行事をひと月遅れで行うという調整をしました。お正月は新暦の2月1日に行くことで、これまでの生活のリズムへの影響を少なくして行事を行うことが可能になりました。

行事の多くは長い間月遅れで行われてきましたが、昭和30年の後半から、正月も現在のように新暦で迎えるようになりまし

